

# 森と自然を活用した保育・幼児教育 支援施策について



平成30年 7 月

広島県健康福祉局安心保育推進課

1. 広島県について
2. ひろしま自然保育認証制度
3. 支援施策について
4. 今後の取組など



## 広島県について

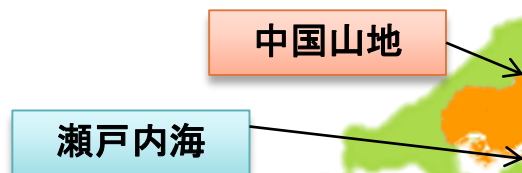
|      |    |                      |
|------|----|----------------------|
| 基本情報 | 面積 | 8,479.03平方km（全国10番目） |
|      | 人口 | 2 8 4 . 4 万人（全国12番目） |

◆ スキー場（県内14箇所）も。海水浴も。

◆ リンゴも。みかんも。



恵まれた自然環境と都市機能が共存



# ひろしま自然保育認証制度

平成29年10月制度創設

自然体験活動を計画的・継続的に取り入れて、教育・保育を行っている団体を、県独自の基準により認証

## 制度のねらい

- 広島県の豊かな自然環境や地域資源を活用した自然体験活動の推進
- 自然保育を実施する団体に対する安心感や社会的な認知の向上
- 保育環境の多様化とファミリーフレンドリーな広島県づくり



第1次認証団体(H30.1.19認証式)

## 認証基準抜粋

|             | I 型                                | II 型                                                          |
|-------------|------------------------------------|---------------------------------------------------------------|
| 対 象         | 広島県内に所在する幼児教育・保育団体(公私立を問わず、すべての団体) |                                                               |
| 位 置 づ け     | 質・量ともに充実した自然体験活動を実施している団体          | 日々の保育等に自然体験活動を積極的に取り入れている団体                                   |
| 自 然 体 験 活 動 | 屋外を中心とした自然体験活動が平均して週10時間以上         | 屋外を中心とした自然体験活動が平均して週5時間以上                                     |
| 屋 外 場 所     | 自然フィールドが園庭以外にあること                  | 自然フィールドが園庭以外にあること<br>※ ただし、園庭において多様な自然体験活動が実施できる場合は、この限りではない。 |

平成29年10月16日  
中国新聞



# 自然保育の「認証」開始

## 県 安全対策など質維持へ

県は、野外での遊びや体験を教育に生かす幼稚園や保育所など向けに「ひろしま自然保育認証制度」を始めた。野外保育を重視する「森のようちえん」や同様の取り組みが全国的に増える中、安全対策などの基準を定めて一定の質を保ち、保護者に周知する狙い。認証制度は都道府県で長野、鳥取に続き3県目。初回の認証申請を31日まで受け付ける。

(明知集二)

認証制度は、幼稚園 天候に応じた体験ができる。や保育所、認定こども する場所がある▽安全園のほか、認可外の保 管理マニュアルを作っ育施設を運営する団体 ているーなど10項目の基準をクリアしてい 育の指導に関する研修を受ける費用の半額(1団体当たり上限15万円)を補助する。年

内に認証団体の第1弾を決定する見通し。

野外保育に取り組む「森のようちえん」全国ネットワーク(東京)には、全国で約200団体、県内では6団体が加盟する。県安心保育推進課は「自然環境を活用した保育は定着しつつある。安心して体験できる機会が増え、保護者の選択肢の

各県の自然保育認証の取り組み事例

|    | 制度名          | 開始年月     | 認証園数 | 補助などの内容            |                  |
|----|--------------|----------|------|--------------------|------------------|
|    |              |          |      | 児童数に応じた運営費補助(半額程度) | 第2子以降の保育料減免分の補助  |
| 鳥取 | 森・自然保育認定制度   | 2015年4月  | 7園   | 児童数に応じた運営費補助(半額程度) | 第2子以降の保育料減免分の補助  |
| 長野 | 信州やまほいく認定制度  | 2015年4月  | 111園 | 認可外施設の人件費補助(4分の1)  | 県の自然保育ポータルサイトで紹介 |
| 広島 | ひろしま自然保育認証制度 | 2017年10月 | —    | 研修費用の補助(半額)        | 県のホームページで紹介      |

13) 317911平日  
いる。同課082(5)

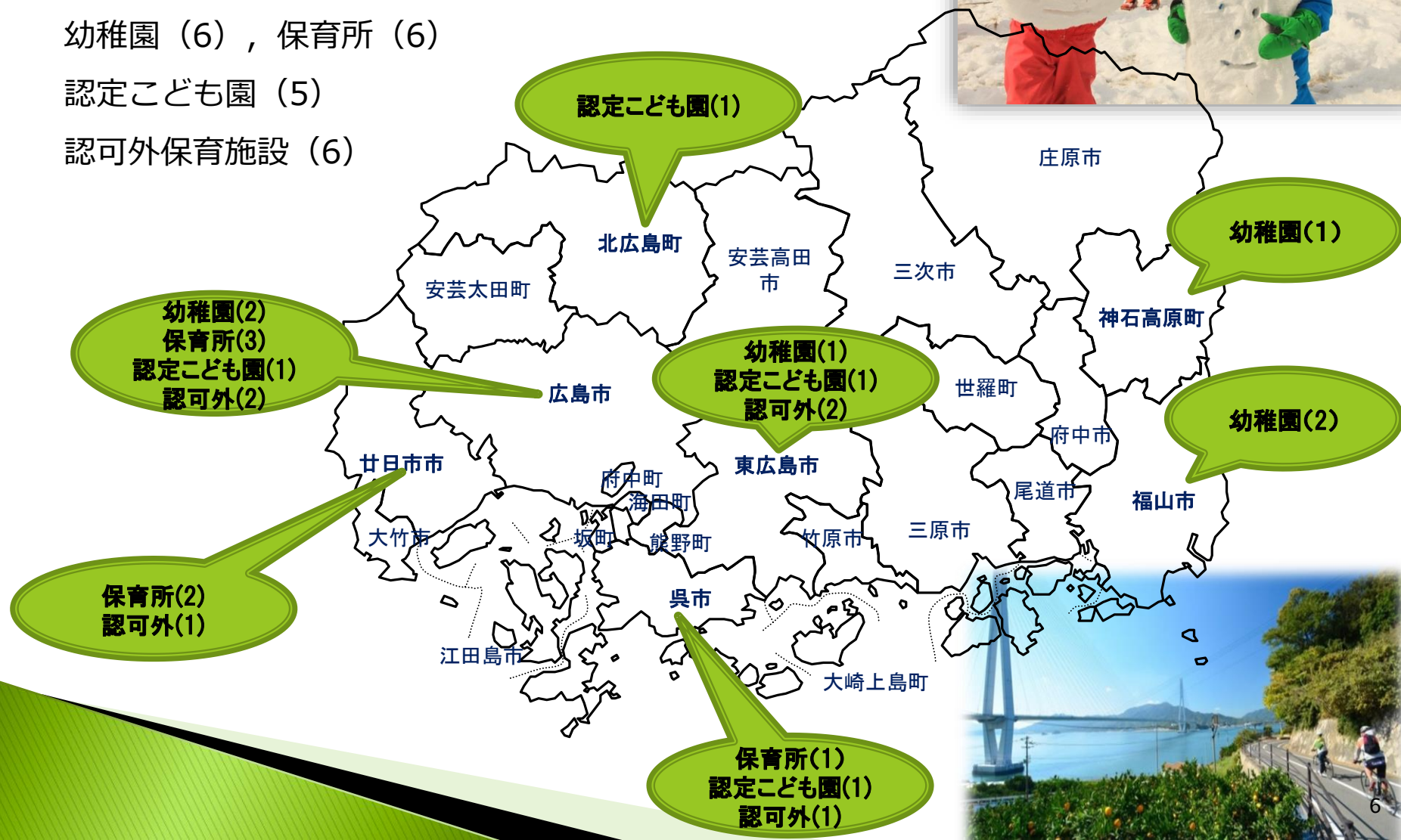
## 2 3 団体を認証 (平成30年4月時点)

内訳：Ⅰ型 21団体 Ⅱ型 2団体

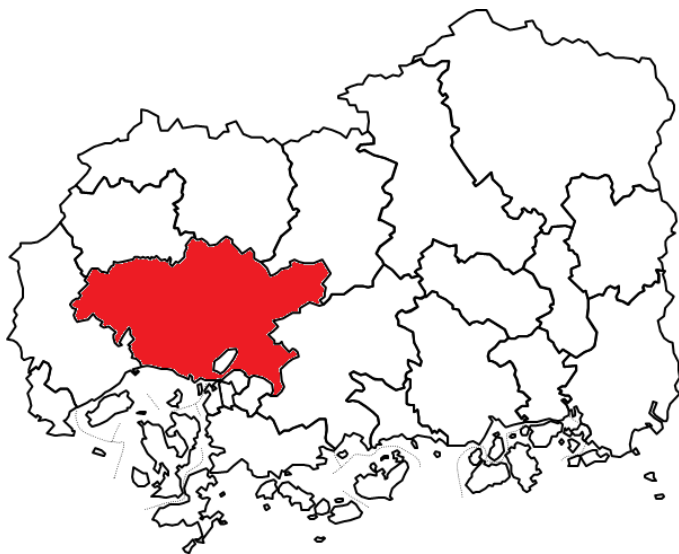
幼稚園 (6) , 保育所 (6)

認定こども園 (5)

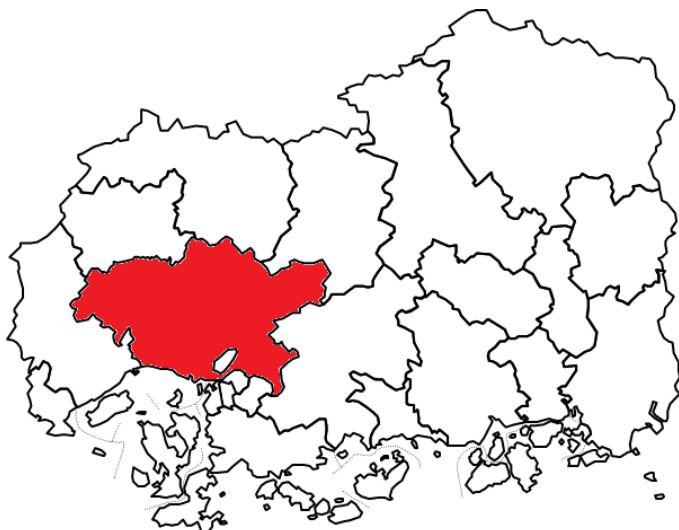
認可外保育施設 (6)



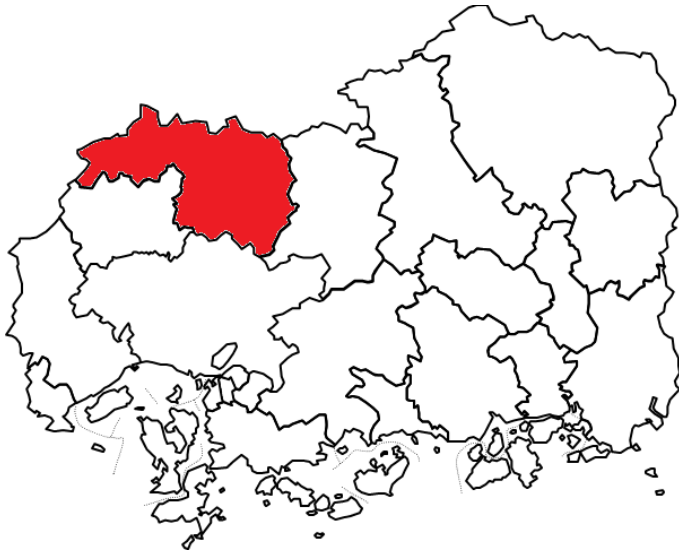
## 広島市（北部） 森のようちえん（認可外保育施設）



# 広島市(南部) 認可保育所



## 北広島町 認定こども園



## 制度創設の経緯①

平成26年度

- 「鳥取・広島両県知事会議」  
森のようちえんの認証制度について、連携して今後のあり方を検討

平成27年度

- 鳥取県・長野県，自然保育に係る認証・認定制度開始
- 鳥取県，三重県と合同で長野県を視察
- 県内視察や有識者との個別の意見交換を実施

平成28年度

- 県内視察や有識者との意見交換を継続実施
- 園所における自然体験活動に係るアンケート調査を実施
- 認証制度の創設等に係る経費を予算要求

平成29年度

- 検討会議の設置（計5回）
- 認証制度創設（H29.10）
- 認証団体の決定と新たな認証基準（H30.1）

## 制度創設の経緯②

### 第1回（H29.4.18）

- 検討会議立ち上げ
- 事務局から事業の趣旨を説明，自然体験活動について意見交換

### 第2回（H29.6.12）

- 県内の自然体験活動団体（2つ）から活動状況報告
- 事業の方向性について意見交換

### 第3回（H29.7.31）

- 事務局から認証基準（素案）を提示
- 事業における用語の定義と，期待される効果について意見交換

### 第4回（H29.9.6）

- 認証基準（案）と認証手続き（案）について意見交換

**【制度創設後】第5回（H29.12.26）** ・新たな認証基準について意見交換

## 支援施策について

平成28年，県が行ったアンケート(対象:幼稚園，保育所，認定こども園922施設，回答率63.4%)  
では，自然体験活動を実施するにあたり・・・

- ①「安全面の確保が大変」(82.1%)
- ②「自然体験活動に関する知識やスキルが足りない」(42.7%)
- ③「活動する場所がない」(39.0%)
- ④「保護者の理解を得ることに課題がある」(20.5%)

・・・という調査結果



「人材育成」「情報発信」等を積極的に実施



# 人材育成

## 認証団体等交流会事業

### ★認証団体間の交流促進

- ・実践内容の発表や交流
- ・実践における課題や解決策の共有
- ・県の事業への意見
- ・H30年度は4/17に第1回を開催。今後も定期的に行う。



## 安全管理専門研修

### ★安全面の資質向上による 自然保育の信頼性向上

- ・自然保育認証団体として押さえておくべき安全に関する基本的な知識・技術を習得
- ・専門的知見を持つ団体による研修会(県主催)を実施
- ・H30年度は8月と12月を開催

## アドバイザー派遣

### ★自然保育に係る取組 支援・資質向上

- ・各団体により異なる課題を解決するため専門知識を持つアドバイザー(県が任命)を派遣
- ・団体の希望(計画)に沿って県が派遣調整
- ・H30年9月から制度開始予定

## 自然保育推進事業補助

### ★自然体験活動のさらなる 推進

- ・各団体により異なる課題(安全管理専門研修・アドバイザー派遣では解決できないもの)を解決するため、各団体が主体的に実施する研修や研修参加に要する費用を補助

補助基準額(補助率1/2)

I型 300千円/年

II型 60千円/年

# 情報発信



## シンポジウム開催

乳幼児期の自然体験活動の意義、実施する際の工夫、課題及び効果等について情報発信する場として、自然保育の推進に向けたシンポジウムを開催

【日時・場所】 平成30年3月10日(土)14時～17時

【内 容】 ①講演

「子どもの育ちにおける自然体験活動の意義

～子どもの育ちにつながる自然体験活動とは～」 汐見稔幸氏

②パネルディスカッション

(パネリスト)県内の幼稚園・保育所(認証団体)園長等

(テーマ)自然体験活動の“保育者にとっての意義”“実践のあり方”“実際上の課題”

## リーフレット作成

ターゲットを絞った広報の実施

【内容】

自然保育に対する保育従事者の理解を深めるためのリーフレットを作成(H30年9月完成予定)

⇒今後、各園・所に積極的にPRする。

## HPの充実

制度内容を県民に幅広く発信

【内容】 制度・補助金の内容説明  
認証団体の活動状況報告 等

☆その他、県や民間の広報媒体等で積極的に情報発信

# 森と自然の育ちと学び自治体ネットワーク

森と自然を活用した保育，幼児教育，子育て支援を積極的に推進する長野県，鳥取県，広島県の3県知事が発起人となり，「森と自然の育ちと学び自治体ネットワーク（正式名称：森と自然を活用した保育・幼児教育推進自治体ネットワーク）を4月17日に設立

## 活動方針

- ①森と自然を活用した幼児期からの育ちと学びに関心ある地方自治体や民間団体等との交流と連携の拡大
- ②森と自然を活用した幼児期からの育ちと学びの認知度を高めるための情報の共有や発信
- ③森と自然を活用した幼児期からの育ちと学びに資する調査研究や人材育成
- ④森と自然を活用した幼児期からの育ちと学びに資する国への政策提言や要望



森と自然の育ちと学び自治体ネットワーク  
（森と自然を活用した保育・幼児教育推進自治体ネットワーク）  
設立宣言

森と自然を活用した保育、幼児教育、子育て支援を積極的に推進する3県の知事が発起人となり、「森と自然の育ちと学び自治体ネットワーク」を設立することを、ここに宣言いたします。  
今後3県が連携し、市町村を含む全国の自治体に対して当ネットワークへの参加を幅広く呼びかけ、賛同いただいた自治体による設立総会を開催すると共に、各地方自治体の特色を生かし、地域社会との連携を大切にしながら、設立趣旨に基づいた様々な活動を積極的に推進いたします。

平成 30 年 4 月 17 日

発 起 人

長野県知事 阿部 奇一

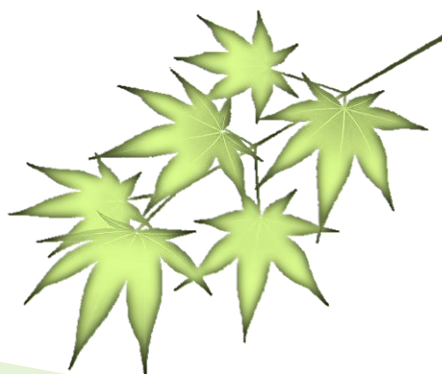
鳥取県知事 平井 伸治

広島県知事 湯崎 英彦

## 今後の取組など

(今後の展望)

- ★自然体験活動の機運醸成
- ★自然体験活動の事例収集と発信
- ★認証制度を活用した移住・定住促進に向けた県外への情報発信
- ★自然体験活動の充実を図るための森林等の整備促進に向けた関係諸機関との連携





ご清聴、ありがとうございました。

広島県安心保育推進課

